

川柳マガジンクラブ東京句会

8月12日(日)

参加者十八名

徳永博重、小倉利江、山口千枝子、  
伊藤三十六、石崎流子、南野耕平、  
星出冬馬、五十嵐淳隆、村田倫也、  
棚瀬くんじ、加藤品子、成瀬酔蝉、  
北川キミ代、阿部闘句郎、藤井成子、  
植竹団扇、松橋帆波、  
脇屋川柳(十五世川柳)

宿題「相場」 松橋帆波選

佳作

僕の株近所で妻が売り歩く	耕平
カンバ袋が相場作れと初手に来る	団扇
閣僚の相場の下落止まらない	流子
安倍さんも長くはないと見る相場	淳隆
株券が働きもせず起きもせず	酔蝉
わたくしを売ると幾らになりますか	倫也
そんな人いたね辺りが相場です	倫也
黄色い声混ざり相場の風を変え	冬馬
売る時にこんなはずではないダイヤ	品子
正札と格好付けて売る老舗	倫也
風評が立つてドミノになる相場	利江
一円が相場で揺れる永田町	闘句郎
相場額包んで義理の熨斗袋	利江

秀句

保釈金相場数える被告人	闘句郎
アンケート年齢だけで括られる	キミ代
美しい国の相場が決まらない	流子

特選

リビングで相場を張っている長者	キミ代
-----------------	-----

軸 もつ一度ヤマタ電機で値を尋ね	帆波
------------------	----

選後評 帆波

昨今は相場といえは直ぐに投資や投機の話  
しになってしまいが、それゆえに同想を避  
けるという意味から広い着想を期待して出  
した課題だったが、やはり投資・投機の作  
品が多かった。

佳作の中では

**僕の株近所で妻が売り歩く**

一読でどこまで理解してもらえるかが難点  
ではあるが、句想と状況の広がり面白い。  
**わたくしを売ると幾らになりますか**

「課題がない」という側面を持ちながら  
も、その距離は近く、一句として鑑賞に堪  
えつるドラマ性を持っている。

**相場額包んで義理の熨斗袋**

課題から距離、日常茶飯を詠んだ点、まと  
まりがあつて好感が持てる。

秀句

**保釈金相場数える被告人**

面白い作品。ただ、声に出して読む場合に  
リズムのとり方が難しい。

**アンケート年齢だけで括られる**

微妙な作者の心理的葛藤が見え面白い。

**美しい国の相場が決まらない**

句のネタを上手くこなしている。ただ、「美  
しい国」ネタは方々で使われているだけに、  
特選と差がついた。

特選

**リビングで相場を張っている長者**

ネット株、デイトレーダーなど想像してし  
まうが、それ以外の場面。例えばフィクサ  
ーのような人物を想像しても十分鑑賞でき  
る作品。広がりがあるといえる。誰にでも  
わかるという点で特選。

以上